

(様式3)

目標達成計画

事業所名 グループホーム すもとの里

作成日: 平成 25年 4月 1日

利用者主体の生活作りとは何かを、職員間で検討していく。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	一般の生活の中でプライバシーを守るということを、改めて検討する。	職員がホスピタリティ意識を高めることが出来る。	苦情ひやりハットを多く取り上げ、改善に向けた取り組みを行う。	6ヶ月
2	23	日々の生活記録が、本人の思いや意向が確認しづらい。	本人の望む事を把握できる。	日々本人の言葉に耳を傾ける。 家族の意向・本人への思いに耳を傾ける。	3ヶ月
3	24	生活歴や今までの経過が判りづらい。	記録様式を改善する。	記録様式を改善する。	3ヶ月
4	1	事業所において理念が共有されていない。	法人の理念を基に、事業所としての理念の確立と共有を目指す。	定期的に理念の沿った視点でサービスを実施しているか検討する。	3ヶ月
5	11	職員間の意見交換や業務改善の場が十分に取れていない。	職員の意見や提案を聴取する機会を持つ。	定期的に決まった時間に会議をする。	6ヶ月
6	52	ホールの脇にトイレがあり、トイレ内には窓が無く臭いがこもりやすい。開けっ放しにしておくと臭いが気になる。	臭いのこもらない環境作り。	ハード面の難しい問題点ではあるが、清掃の徹底を心がけると共に、職員以外の人達の知恵を借りて、改善策を検討する。	6ヶ月
7	34	利用者の急変や事故発生時の応急手当や初期対応の実践力が不十分である。	緊急時の対応力を備えることが出来る。	日常的に起こりうる骨折や窒息に対しての研修会を開催する。	6ヶ月